

PRESS RELEASE

報道関係者各位



2020年9月29日(火)
株式会社アイディオット

DX時代に欠かせないビッグデータ分析、データを活用しビジネスを加速 データ売買プラットフォームにて「国勢調査等加工済み汎用データセット」 取扱開始

～ 自社データとパブリックデータの融合で未来予測や顧客分析を精度高く～

データ事業を軸にアルゴリズムソフトウェアを駆使してC向け・B向けの事業を展開しているITベンチャーの株式会社アイディオット（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：井上智喜、以下、「当社」）は、データ収集・売買が行える、データマッチングプラットフォーム「DP2（ディーピートゥー）」にて国勢調査データの取り扱い（URL：<https://dp2.jp/site/public-data>）を開始しましたのでお知らせします。

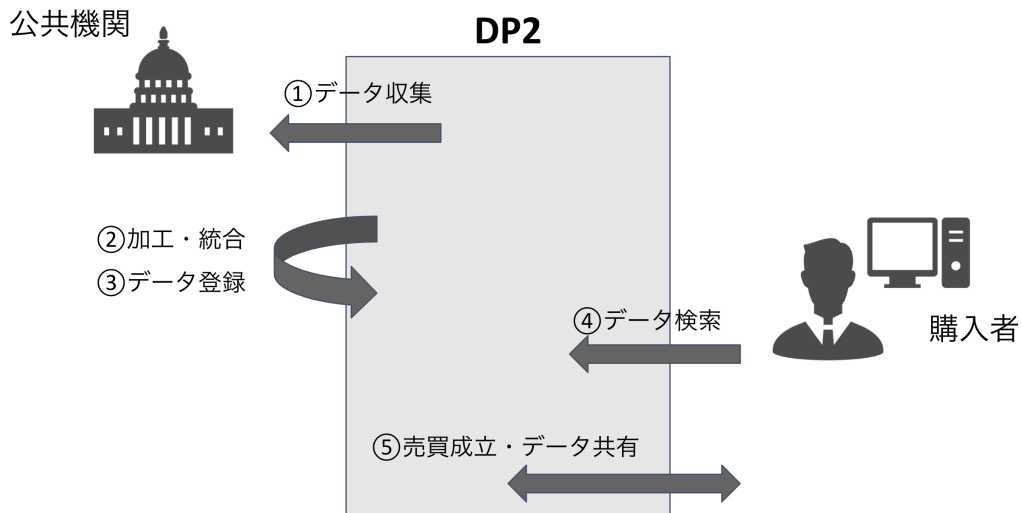


自社保有データとパブリックデータ（※1）を融合し、活用することで自社データだけでは取得が難しかった潜在顧客の分析や市場調査などビジネスのあらゆる課題を解決。ビッグデータ分析により新たな価値を生み出し未来予測や顧客分析をよりの確に、新しいビジネスやサービスの開発を活性化します。

■ DP2（ディーピートゥー）とは

企業が保有するデータをフリマのように売買できるオンラインデータマッチングプラットフォームです。データの流通を促進することで、従来AI開発に必要な「データ収集」の時間を短縮し効率化、プロダクト開発のスピードをアップします。

従来、AI開発をする際にまず行うべき「データ取得先の選定」と、その「収集」を企業が独自に行うのは時間もコストもかかっていました。しかし、DP2を利用することで、プラットフォーム上のデータストックから「欲しいデータ」を選んで購入ができ、圧倒的な作業の効率化と新しいデータとの出会いが見込めます。またデータサイエンティストとのマッチングを行うことで、「購入データの整形」や、「データ利用シーンのアドバイスコンサルティング」も提供いたします。一方で、自社データを保有している企業のデータ販売、既存データの売上化も可能です。



DP2データ収集からデータ販売までの仕組み図

■ データ活用事例

国勢調査のデータを基に、新規事業のリサーチやマーケティングに活用いただけます。事業戦略を考える上での意思決定として自社データとパブリックデータを合わせて活用することでより幅広い顧客層の分析を実現します。

<利用業態例>

不動産業：空き家率と住宅価格の相関性リサーチ・活用

医療：国内のウイルス感染拡大の予測や対策への利用

小売：既存店舗周辺の商圈データに基づく新規出店店舗の売上推定など

■ 国勢調査とは

国勢調査は、日本の人口や世帯の実態などを把握するため、5年に一度、外国人を含めた日本に住むすべての人を対象に行われている調査です。国が「日本に住む人や世帯」について調べることで、生活環境の改善や防災計画など、国民の生活に欠かせない様々な施策に役立てられる調査です（※2）。主なデータとしては、住居に関する居住期間・仕事の種類・就業時間・家計に関する収入の種類など。調査結果は、少子高齢化対策や防災政策など国や地方自治体の施策の基礎資料として用いられるほか、衆議院の小選挙区の区割りの見直しや民間企業の市場分析などさまざまな形で活用されています。

当社は、国勢調査データを、特定の個人又は法人その他の団体の識別ができないように加工し、即利用可能なデータ形式にて売買プラットフォーム「DP2」にて提供します。従来の自社データとパブリックデータを融合することで未来予測を可能にし新しいビジネスやサービスの開発を活性化します。

※1 一般に公開されている個人や法人の情報、国勢調査統計データ、行政や研究機関が出しているデータなど

※2 参考元：総務省統計局（URL：<https://www.kokusei2020.go.jp/about/outline.html>）

■ 国勢調査データ提供開始に関して

種 別：匿名データ

調査名：国勢調査（総務省）

年 次：平成22年及び27年

開始日：2020年9月29日

主な取り扱いデータ：将来人口推移、訪日外国人、入出国管理統計、有価証券報告書、就業、公示地価、住宅・土地統計、医療施設・患者など。20種類以上の国勢調査データを収集・整形

詳細：<https://aidiot.jp/product/dp2/>

■ 今後の展開に関して

データとコア技術を軸に、データ流通を活性化しテクノロジーと掛け合わせ新ビジネス・サービスの創出をサポート。行政データ・天候データなど膨大な量のオープンなデータを整形ざまな業界のDXを促進してまいります。今後は経済産業省との提携のみならず、産学や官庁などとの連携も強化していく予定です。

■ 株式会社アイディオットについて

2014年に設立、データ事業を軸としてAIやソフトウェアなど様々なプロダクト開発を行っているITベンチャー企業。アルゴリズムを活用した顔認証プロダクトの開発、100企業以上のデータを保有するデータマッチングプラットフォームの運営、200以上の開発実績を保有するデータを利活用したソフトウェア開発などを行っています。

■ 株式会社アイディオット概要

会社名：株式会社アイディオット

代表取締役 CEO：井上智喜

URL：<https://aidiot.jp/>

本社：東京都渋谷区代々木1-38-17 ミヤタビル2 3F

設立：2014年11月

社員数：約35名（パート・業務委託含む）

事業内容：

- ・データ売買、マッチング支援を行うデータシェアリングプラットフォーム「DP2 (<https://dp2.jp/>)」の運営
- ・データの加工・クリーニング・アノテーション化 支援
- ・人工知能を用いたアルゴリズムのライセンス事業
- ・ソフトウェア開発